



ポート挿入・mFOLFOX6療法を受けられる

様へ

金沢大学医学部附属病院
病棟 階 主治医()

	入院(/)	化学療法1日目(/)	化学療法2日目(/)	化学療法3日目・退院(/)							
点滴・処置	<ul style="list-style-type: none"> / 時 ポートを挿入します。着替えをしていただきます。 2階レントゲン室にて行います。 処置後、ポートを挿入したところを圧迫します。 翌日、主治医が診察の際に圧迫を除去します。 	<ul style="list-style-type: none"> 11時30分 ポート針をさして、治療を開始します。 インフューザーポンプを計量し、投薬されているか確認します。(14時・21時) <div style="text-align: center;"> <p>11:30 12:00 14:00 インフューザーポンプへ(46時間)</p> <table border="1"> <tr> <td>制吐剤 デカドロン</td> <td>アイソボリン</td> <td>5-FU 急速</td> <td rowspan="2">5-FU 持続</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エルプラント</td> <td></td> </tr> </table> <p>14:00</p> <p>※ポート針とインフューザーポンプの接続部(白い部分)は、体に密着させるため、テープで固定します。→接続部を人肌温に保つことで正しい流量で注入されます。</p> </div> <p>※点滴の時間は多少前後することがあります。</p>	制吐剤 デカドロン	アイソボリン	5-FU 急速	5-FU 持続		エルプラント		<ul style="list-style-type: none"> インフューザーポンプを計量し、投薬されているか確認します。(7時・14時・21時) 	<ul style="list-style-type: none"> インフューザーポンプを計量し、投薬されているか確認します。(7時・12時) 12時ポンプが空になりましたら治療は終了です。ポート針を抜きます。 <div style="text-align: right;">  <p><空のポート></p> </div>
制吐剤 デカドロン	アイソボリン	5-FU 急速	5-FU 持続								
	エルプラント										
内服薬	<p>内服薬は継続して服用して下さい。</p> <p>入院中に内服薬がなくなる場合、お知らせ下さい。</p> <p>ポート挿入日の昼食後から、2日間の内服があります。</p> <p>ロキソニン(痛み止め) / フロモックス(抗生剤) / ムコスタ(胃薬) 毎食後1錠ずつ服用して下さい。</p>	<p>※3日間のいずれかに病棟薬剤師が回診に来ます。お薬のことで分からないことがあれば病棟薬剤師にご相談下さい。</p>	<p>朝から、3日間の内服があります。</p> <p>ナゼアOD 朝 1錠(吐き気止め) デカドロン(0.5) 朝 2錠/昼 2錠(吐き気止め) ガスタ-D(10) 朝 1錠/夕 1錠(胃薬)</p>								
食事	特に制限はありません。	必要時、食べやすい食事形態について看護師とご相談下さい。ただし、 冷たい飲み物や食べ物は避けて下さい。									
清潔	入浴できます。ポート挿入後、翌日以降は、防水シートを貼ってシャワー浴ができます。			ポート針抜去後2時間以上経過して、出血がなければ絆創膏をはがして入浴しても良いです。							
安静・活動	制限はありません	ポンプのチューブトラブルや転倒に注意しましょう。									
検温	入院時 ポート挿入後	10時 18時	10時	10時							
検査	<ul style="list-style-type: none"> 入院時 身長・体重測定をします。 入院日翌日に採血をします 	<p>《 看護計画の説明 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ポート挿入・化学療法が安全に行われるよう援助します。 治療中に気分が悪くなったり、しびれを強く感じた場合など辛い時は、看護師にお伝え下さい。医師と連携し苦痛の緩和に努めます。 看護師より「私のちりょう日記」をお渡しします。しびれや食欲の状況、体調の変化など記録していきます。記録することで治療中の体調をふりかえりましょう。 退院後の生活についてわからないことはありませんか？ 医師・看護師・薬剤師と共に解決していきます。 									
情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法、今後の方針について医師より説明があります。(/ 時～) “大腸化学療法を受けられる患者様へ”のパンフレットをお渡しします。 化学療法に使う薬について、薬剤師より説明があります。(/) 外来化学療法室への見学をしていただきます。(/) お渡しするパンフレットをご参照下さい。 	<p>《 退院にむけて 》</p> <ol style="list-style-type: none"> インフューザーポンプに使用した青いポーチは、次回化学療法時に持参してください。 化学療法2回目以降のポート針抜針方法について、医師、看護師と相談しましょう。 <ol style="list-style-type: none"> ご自分で(家族が)抜く練習をしていく → 治療3日目に外来化学療法室に来てください 胃腸外科 外来で抜いてもらう 近医で抜いてもらう <p>《退院にあたり…》</p> <ul style="list-style-type: none"> 退院時処方/診察カードをお渡しします。 次回再来日 / 胃腸外科外来受診手続き後、11時採血室へ、その後胃腸外科外来にて診察を受けて下さい。朝食を済ませて13時に2階の化学療法室へ行って下さい。 <div style="text-align: right;">  </div>									